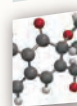


名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
アウトリーチ活動報告書 2018



INDEX

■ 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■ 名古屋大学オープンレクチャー 2019	3
■ 行きたい想いが加速する 名大研究室の扉 in 河合塾	5
■ 夏休み あいちサイエンスフェスティバル 2018	7
■ あいちサイエンスフェスティバル 2018	8
■ あいちサイエンスフェスティバル 2018 サイエンストーク	10
■ あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	11
■ 国際産学連携セミナー、シンポジウム等、展示会への出展実績	12
■ Tongali (とんがり) プロジェクト	13

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

本学は 2018 年 3 月、文部科学大臣より「指定国立大学法人」に指定されました。指定国立大学法人には、教育や研究の水準において世界の有力大学と伍する競争力を持つことが求められ、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。岐阜大学との「東海国立大学機構」設立合意もその一環であり、国内初の試みとして、日本中の注目を集めています。また指定国立大学には、大学の教育、研究、産学連携により生み出される成果を社会や経済の発展に具体的に結び付け、そうした貢献を国内外に積極的に発信していく取り組みも、求められています。

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部では、従来から、本学の研究成果普及と市民対話を目的としたアウトリーチ活動を実施してきました。本学では多くの部局・部署が公開講座や講演会等を実施していますが、学術研究・産学官連携推進本部では、その設置目的に鑑み、特に「研究支援」と「地域連携」の視点を重視して、大型研究費を獲得した研究の成果発信や、地域諸機関や企業との交流に力を入れてきました。

指定国立大学となった今後はさらに、社会や経済の発展に本学がいかに関与している、あるいは貢献していくのか、という視点から、本学の研究成果を広く発信していきたいと考えています。今後も、社会の皆様との関係を築きながら、さらなる学術研究の発展と、産学官連携の推進に取り組んでまいります。

2019 年 3 月



名古屋大学理事・副総長／
学術研究・産学官連携推進本部長
財 満 鎮 明

名古屋大学 オープンレクチャー 2019

名古屋大学の研究者が行っている
様々な分野の最先端研究を紹介しました。

・概要

タイトル 名古屋大学オープンレクチャー 2019

対象 一般（主に高校生）

日程 3月21日（木・祝）

参加者数 247名（申込者数 286名）

クラス数 6クラス

・当日スケジュール

14:00～14:20 名古屋大学概要説明ほか
（理学南館 坂田・平田ホール）

14:30～16:00 公開講座



一般の方を対象に研究を
わかりやすくお話しします。
少人数の講義スタイルで、
大学・研究者・最先端研究が
身近に感じられるこの機会に、
ぜひご参加ください。

・公開講座一覧

- 石原 一彰 反応を自在にあやつる触媒づくりのはなし
- 神田 英輝 南アフリカでバイオ燃料をつくるのはなし
- 榊原 均 植物の体の中の会話のはなし
- 辻村 啓太 脳の発達と病気のはなし
- 堀江 未央 娘たちのいない村のはなし
- 町田 洋 温室効果ガス CO₂ を回収するはなし



名古屋大学概要説明



大学概要説明等会場



挨拶をする財満本部長

今年は、学内の4研究科に所属する6名の研究者が公開講座を行いました。約250名が坂田・平田ホールに集まりましたが、参加者の約半数が10代の参加者で、大学の講義を体験する良い機会として地域に定着してきたと感じました。冒頭挨拶で財満理事は、高校までの学びとは異なり、自身で課題を見つけ解決策をデザインする大学の学びを体験して欲しいと話しました。近年のトピックスを紹介した大学概要説明では、指定国立大学構想や、周年事業 NU MIRAI などに触れ、本学の特長を参加者の皆さんに知っていただきました。

反応を自在にあやつる触媒づくりのはなし

講師：石原 一彰（工学研究科教授）



化学反応を自在にあやつり、欲しい物質を得るための触媒研究の最先端について話しました。比喻を使いながらわかりやすく説明し、「難しいけれど興味が広がった」という感想が多く寄せられました。講義後には研究室見学も実施され、講

師や研究室学生の説明を受けながら、参加者たちは様々な装置を興味津々に見入っていました。

南アフリカでバイオ燃料をつくるのはなし

講師：神田 英輝（工学研究科助教）



バイオ燃料などに使うために、光合成の能力が非常に高い微細藻類を大量に育てて取り出す国際協力研究について、エネルギー収支の課題を克服するための新しい手法や、研究の進捗について紹介しました。「すばらしい社会貢献である」

「名大に入ってこの研究がしたい」と参加者たちは感銘を受けた様子でした。

植物の体の中の会話のはなし

講師：榊原 均（生命農学研究科教授）



植物の体内での情報伝達のありようを解明する、分子レベルでの研究を紹介しました。植物といえば静的な印象が強いですが、実際には根や葉などから得た情報を体の離れた場所まで伝達して環境に適応しています。参加者たちは「高校

での学びが掘り下げられ、大学の深い学びが実感できた」と、大学での学びに関心を高めることができました。

脳の発達と病気のはなし

講師：辻村 啓太（高等研究院／医学系研究科特任助教）



脳の発達に関わる遺伝子の働きと、その遺伝子の変化（変異）によって引き起こされる精神障害について説明しました。特に指定難病であるレット症候群の根本的治療薬の開発にとりくむ最新の研究を紹介しました。細胞を顕微鏡で見る体験もあり、

参加者たちは脳研究の最先端に触れることができました。

娘たちのいない村のはなし

講師：堀江 未央（高等研究院／人文学研究科特任助教）



中国・雲南省にある少数民族の村でのフィールド調査に基づき、中国の急激な経済成長や一人っ子政策の影の部分ともいえるヨメ不足の問題について紹介しました。講師自身の経験や実感を交えた具体的なお話や、調査時の写真なども興味

深く、参加者たちは人類学研究の醍醐味をたっぷりと味わっていました。

温室効果ガス CO₂ を回収するはなし

講師：町田 洋（工学研究科助教）



地球温暖化を防ぐ対策として注目されている CO₂ の回収技術について、温暖化の背景から、CO₂ 回収の技術や研究の最新線まで丁寧に紹介しました。CO₂ を吸収・分離するという方法を始めて知った参加者も多く、「斬新だった」「回収後の

活用についてもっと知りたい」といった意見が寄せられました。

行きたい想いが加速する

名大研究室の扉 in 河合塾



高校生を中心とした受験生を対象としたイベント。2014年5月から開催。学校法人河合塾と共催し、大学で行われている先端研究を学部ごとに紹介すると共に、研究者や大学院生と直接話をする事で研究の奥深さや大学で何を学ぶかを考える機会を提供します。

- 開催時期 2018年5月27日より第三期前半として6回開催。
- 会場 河合塾名古屋校、河合塾千種校
- イベント内容
 - ① 講師による研究紹介（60分）
 - ② 大学院生による研究と大学生活の紹介（30分）
 - ③ 講師・大学院生との懇談会（30分）
- 本イベントの特徴
 - ① 全学部から選ばれた最先端研究を担う研究者が講師として参加します。
 - ② 研究室で活躍する大学院生も講師として参加し懇談会も行い参加者からの質問に答えます。
 - ③ 大学での先端研究の現場を知ること、研究へのモチベーションを持ってもらうきっかけを作ります。
 - ④ 名古屋大学の研究活動を知ってもらう事で、適切な大学や学部に進学する手助けをします。
 - ⑤ 河合塾との共催で、高校生が知りたい情報をイベントに盛り込み、広く情報発信します。



医学部の回で講義をする宮田先生



工学部の回で懇談をする伊藤先生



文学部の回で懇談をする院生

2018年5月27日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)

生命現象を電子スピンドとらえる

[理学部]: 三野 広幸 (理学研究科准教授)
 院生 (多元数理科学研究科 (解析数論))
 院生 (環境学研究科 (地球惑星科学))



最初に三野先生は科学について「自然の本質を研究することが、結果として私たちの生活に役に立つことがあります」と話しました。研究室では、植物などが営む光合成のエネルギー変換機構を原子・分子レベルで解明するための研究を

行っています。赤外分光や電子スピン、時間分解分光などさまざまな分光測定や量子化学計算を駆使して問題に挑んでいる様子を説明しました。大学院生の話では学部の乗船実習や大学院での留学、数学の魅力と楽しさを紹介しました。

2018年6月17日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)

からだづくりの原理を問う：脳はどうできる？

[医学部]: 宮田 卓樹 (医学系研究科教授)
 院生 (医科学専攻 (脳神経外科学))
 院生 (総合医学専攻 (機能組織学))



宮田先生は、脳の発生・脳づくりを支える細胞の生き様について研究しています。脳の発生には、パーツとなる「細胞づくり」とその細胞の動きや配置を行う「組み立て」という2つの柱が車の車輪のように重要な役割をしており、その重要性を、

先天的にふらついて歩くマウスの研究例を元に話しました。大学院生の話では医学部を含む様々な学部出身者が集まる研究科の活動が参加者の興味を引きました。

2018年8月26日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)

植物と共に生きるための未来の技術を育む

[農学部]: 野田口 理孝 (生命農学研究科助教 / 卓越研究員)
 院生 (森林・環境資源科学専攻 (木材工学))
 院生 (応用生命科学専攻 (動物細胞機能))



野田口先生からは、研究課題の一つである接木法についての説明がありました。一般的に「異科接木は不可能」と考えられていますが、研究によりマメ科やウリ科などの接ぎ木が可能になり、異科接木法で

土壌ストレスに強い根の利用や、接ぎ木チップによる苗量産などで、地域の課題解決が期待されています。大学院生の講演では研究内容と共に大学や大学院に入った動機やその生活についても詳しい紹介がありました。

2018年6月3日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)

日本語のしくみをとらえる 一変化に見入る・魅入られる一

[文学部]: 宮地 朝子 (人文学研究科准教授)
 院生 (人文学研究科 (ジェンダー学))
 院生 (人文学研究科 (日本語学))



「文学部・人文学研究科は、"人間の本質を探る"学問」と最初に宮地先生は学部について紹介しました。日本語学の特徴はその研究の歴史の長さ、蓄積の大きさにあるそうです。専門の日本語の構文構造史については日本語の動態を

理論的に意味づけし、その構造を捉えることが重要なテーマだと話しました。大学院生の講演では教員から博士課程に戻った方からの話や、ジェンダー学の調査方法などの紹介がありました。

2018年7月1日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)

コンクリートの科学／ナノ計測が拓く超精密機械工学

[工学部]: 丸山 一平 (環境学研究科教授)
 伊藤 伸太郎 (工学研究科准教授)
 院生 (応用物質化学専攻 (無機材料化学))
 院生 (機械システム工学専攻 (統計流体工学))



丸山先生からは名古屋大学工学部・工学研究科の教育システムとコンクリート劣化の研究について紹介がありました。伊藤先生は先端的マイクロ・ナノ計測法の開発に携わっており、次世代のナノレベルのものづくりとナノ計測が求めら

れていることをわかりやすく説明しました。大学院生の講演では医工連携や企業連携の話があり、連携が盛んな研究科の特徴を知る機会になりました。

2018年9月16日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)

「経済」って何だろう？ 一ことばの歴史から考える一

[経済学部]: 隠岐 さや香 (経済学研究科教授)
 院生 (経済学研究科 (社会経済システム専攻))
 院生 (経済学研究科 (産業経営システム専攻))



隠岐先生は、その「経済」や「市場」「お金」という概念が、どのような社会から発生し、生まれたのかという社会思想の歴史、「社会思想史」について研究しています。講演では、「経済」という言葉を使わずに現代社会を考えることはでき

るだろうか」というテーマのもと、社会思想史の探究について話しました。大学院生の講演では大学で学んでいた社会学から経済学に分野を移した方、監査法人で働きながら大学院で研究をしている方から研究などの活動についての紹介がありました。



夏休み あいちサイエンス フェスティバル 2018

今年は夏休み期間まるごとをフェスティバル会期とし、小・中・高校生向けのイベントを多数開催しました。



集まれ!未来の科学者たち 宇宙飛行士訓練体験 ~ 5 ミッション~

日時：2018年9月2日(日) ①10:30-12:30、②14:00-17:00
会場：イオンモール長久手 イオンホール
講師：名古屋大学 宇宙開発チーム NAFT
対象：①小学校4年生~中学生、②子ども~おとな



NASAの宇宙飛行士訓練を参考に、子ども向けにアレンジしたワークショップをおこないました。具体的には「宇宙クイズ」、真っ白なジグソーパズルを完成させる「ホワイトパズル」、鏡を見ながら図形をなぞる「鏡ゲーム」などをおこないました。

午前の部は事前申込制で、班ごとに協力してミッションを達成しました。午後の部は随時自由に、小さな子どもから大人まで、来場者が上記アクティビティを楽しみました。

集まれ!未来の科学者たち マイコンプログラミング教室

日時：2018年9月2日(日) 14:00-15:00、16:00-17:00
会場：イオンモール長久手 イオンホール
講師：名古屋大学大学院情報学研究科 安田・遠藤研究室
対象：親子



プログラミング教育向けマイコンボード「micro:bit」を活用して、プログラミングを親子で体験しました。講師の説明に従ってプログラムボックスを操作しながら、LEDを光らせたり、きゅうりにつなげて音楽を鳴らしたりしました。「こうしたら、こう

なる」という指示を組み合わせるという、プログラミングの基本的な考え方を知ることができました。

第2回いきもの教室 骨格からトリケラトプスを知ろう!~ホネホネワークショップ

日時：2018年7月29日(日) 14:00-15:30
会場：愛知県図書館
講師：藤原 慎一(名古屋大学博物館講師)
対象：小学4年生~6年生と保護者
主催：愛知県図書館



実際に骨格標本を動かして、骨と筋肉の関係を学んだ後、トリケラトプスの骨のパズルを組み立てました。藤原先生の熱意あふれる講義と丁寧な指導により、子どもたちは、最後まで集中して取り組んでいました。参加した親子ともに大変好評でした。

キッズ ボタニカル・ラボ

日時：2018年8月18日(土) 13:00-16:30
会場：名古屋市東山動植物園
講師：瀬上 紹嗣(名古屋大学特任助教)
対象：小学4年生~小学6年生
主催：名古屋市
共催：名古屋大学大学院生命農学研究科細胞ダイナミクス研究室、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



今年は小学生4~6年生を対象に開催。参加者たちはチームに別れて光合成の実験や結果をまとめたワークシートを作成し、みんなで楽しそうに実験発表をしました。実験の面白さや奥深さを知る機会になりました。



あいちサイエンス フェスティバル 2018

子どもから大人までを対象とし、サイエンスとものづくりのイベントを多数開催。

あいち サイエンス フェスティバル 2018



あいちサイエンスフェスティバル 2018 講演会 現代素粒子物理学最前線 講演会 「人類が対峙する宇宙暗黒面の 3 つの謎」

日時：2018年11月4日（日）13:00-15:45

会場：名古屋大学 野依記念学术交流館

講師：小林 誠（名古屋大学 KMI 機構長・特別教授）

久野 純治（KMI 副機構長・教授）

飯嶋 徹（KMI 教授）

伊藤 好孝（KMI/ 宇宙地球環境研究所教授）

戸本 誠（KMI 准教授）

対象：一般

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

共催：素粒子宇宙起源研究機構（KMI）、

タウ・レプトン物理研究センター

最初に久野副機構長が、素粒子や宇宙の謎を解き明かす素粒子宇宙起源研究機構（KMI）の目的などを紹介しました。ヒッグス粒子の発見で標準理論で予言された素粒子すべてが発見されましたが、この理論では宇宙の起源を解き明かすことは出来ません。なぜ、観測されている初期宇宙の小さな揺らぎから、今の銀河の泡状の構造が出来たのか、なぜ物質が存在できるのか（反物質がほぼ存在しないのか）。これらは標準理論では説明できず、超える理論を発見する必要があり、標準理論に含まれない重力や時空を含めた理論での解明が求められています。

講演では戸本准教授から世界一巨大な加速器 LHC も使った標準理論を超える、宇宙の誕生などにも繋がる重力や時空を含めた素粒子理論をさがす研究の紹介がありました。

飯嶋教授の講演では今年から稼働し始めた反物質が消えてしまった原因を探る Bell II による実験を紹介しました。

伊藤教授は、宇宙初期の小さなゆらぎから現在の銀河や銀河団による大規模構造を作り出す原因となっていると考えられている暗黒物質。この物質の正体を解明する実験や観測を紹介しました。

その後、久野副機構長と3名の講演者に加え2008年にノーベル物理学賞を受賞した、小林機構長も参加してパネルディスカッションを行いました。参加者の質問に答える形で進み、暗黒物質の発見手段など、色々な課題について様々な視点で回答しました。宇宙暗黒面の3つの謎、「暗黒物質」、「消えた反物質」、そして「暗黒エネルギー」の解明に向けて期待が膨らむと共に新しい物理学への期待も高まりました。



野依記念学术交流館で講演を聴く参加者



素粒子論と KMI を紹介する久野副機構長



最新の加速器実験を紹介する戸本准教授



Bell II 実験を紹介する飯嶋教授



暗黒物質の解明、発見を目指す伊藤教授



ファシリテータの南崎さん（左）と、参加者の質問に答える小林機構長（右）

あいちサイエンスフェスティバル 2018



大学発! ベンチャー&コラボフェア

日時：2018年10月14日(日) 12:00-16:00
会場：松坂屋名古屋店 さくらパンダ広場
対象：どなたでも
主催：Tongali プロジェクト



大学から生まれたベンチャー企業や共同開発商品等を紹介するフェアを、松坂屋名古屋店の屋外会場にて開催しました。名古屋大学発ベンチャーの企業等がブース出展やステージプレゼンテーションをおこない、栄の街を歩き交う人々にアピールをしました。

■スペシャルトークセッション

日時：2018年10月14日(日) 13:30-14:30
講師：吉田 大成(株式会社エブリー代表取締役社長)、
松下 健(株式会社オプティマインド代表取締役社長)



動画レシピアプリ「デリッシュキッチン」が大人気の株式会社エブリー代表・吉田氏と、物流最適化サービスで注目の株式会社オプティマインド代表・松下氏が、起業の醍醐味やメッセージを語るトークセッションを開催しました。地元出身の若き起業

家のトークに刺激され、東海地域のスタートアップがさらに盛り上がることを期待します。

生まれ!未来の科学者たち DNA抽出にチャレンジ

日時：2018年9月22日(土) ①14:00-14:40、②15:00-15:40、③16:00-16:40
会場：イオンモール長久手 イオンホール
講師：名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)、自然科学研究機構生命創成探究センター(ExCELLS)
対象：子ども~おとな

バナナやイチゴなど、身の回りにあるフルーツからDNAを取り出す実験を、ITbMとExCELLSのコラボレーションによって実施しました。ExCELLSの白瀧千夏子氏が全体のファシリテーターを務め、ITbMのスタッフが各グループの実験をサポートする形で進めました。子どもからおとなまで、本格的な実験に興味津々で、大満足の時間を過ごしました。



マイコンプログラミング教室

日時：2018年10月13日(土) 13:00-14:00、14:30-15:30
会場：蒲都市生命の海科学館
講師：遠藤 守(名古屋大学大学院情報学研究所准教授)
対象：小学3年生以上
主催：蒲都市生命の海科学館



60分1回とし、午後2回、各回5組の参加者での親子を対象としたマイコンプログラミング教室を実施し、マイコンのセンサーなどを活用したじゃんけんゲームや音楽が流れるキューリなどを製作しました。

科学講演会

先生になんでも聞いてみよう!「AIってなあに?」

日時：2018年11月11日(日) 13:30-14:30
会場：サイエンスワールド2階「レクチャーラボ」
講師：北 栄輔(名古屋大学大学院情報学研究所教授) 他
対象：子ども~おとな
主催：サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)



サイエンスワールドレクチャーラボで実施した講演会。申込が殺到し、キャンセル待ちが出るほどでした。予想以上にAIに対する世間の関心の高さがうかがえたイベントでした。

ScienceTalk

サイエンストーク

あいちサイエンスフェスティバルでは、平日夜にサイエンストークを開催しています。科学技術をはじめ、ものづくりやカルチャーまで、広くサイエンスの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。

図書館サイエンス夜話 第3夜 素粒子と考古学がさぐるピラミッド

日時：2018年11月8日(木) 18:30-19:45
 ゲスト：森島 邦博 (名古屋大学理学研究科特任助教)
 会場：名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
 主催：名古屋市鶴舞中央図書館
 共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



ミュオンを使った技術によるクフ王のピラミッドの観測について、とても分かりやすい説明でした。新発見のピラミッド内の空間やこれからの観測の展望など、夢の広がるお話でした。

ASF サイエンストーク スパコンで心不全を治療する ー最新技術と現状ー

日時：2018年11月15日(木) 18:30-20:00
 ゲスト：秋田 利明 (名古屋大学医学部特任教授)
 会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄
 主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



日本人もかかる可能性が高くなってきた心不全。今回は心不全のメカニズムなどを紹介。さらにスパコンを使った緻密なシミュレーションからテーラーメイド医療など心不全を改善する新しい方法を紹介しました。

ASF サイエンストーク 災害廃棄物を有効利用するためには

日時：2018年11月21日(水) 18:30-20:00
 ゲスト：中野 正樹 (名古屋大学大学院工学研究科教授)
 会場：文化系飲食店「ボクモ」
 主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



巨大災害時に発生する大量の廃棄物の処理方法は大きな課題となっています。特に津波堆積物を含む土砂などの再利用を行う方法の研究の現状なども紹介しました。再利用の必要性和課題を知る機会となりました。

蒲郡市生命の海科学館 連携サイエンストーク マントル掘削～月より遠い道～

日時：2018年11月23日(金・祝) 10:30-12:00
 ゲスト：道林 克禎 (名古屋大学大学院 環境学研究科教授)
 会場：蒲郡市生命の海科学館 1F サイエンスショールーム
 主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
 共催：蒲郡市生命の海科学館



地殻とマントル境界の説明と未解明なこの境界を解き明かすマントル掘削について紹介しました。しんかい 6500 による深海での岩石調査の潜航風景も紹介。マントル掘削の醍醐味を感じられる会になりました。

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業

名古屋大学出前授業 in 豊橋 2018

主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

■「瞬くオーロラと宇宙のさえざり」

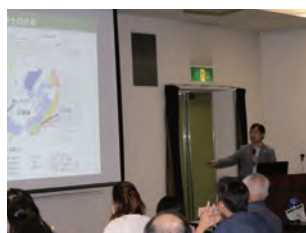
日時：2018年11月11日(日) 13:30-15:00
 講師：三好 由純(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)
 会場：豊橋市視聴覚教育センター



オーロラの光のうち、これまで撮影が難しかった 1/80 秒周期の明滅現象の発見について紹介しながら、オーロラの原理などについての講演でした。小学生等からは色や光り方などについて質問が上がりました。

■「永久凍土と気候変動」

日時：2018年11月18日(日) 14:30-16:00
 講師：檜山 哲哉(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)
 会場：豊橋市自然史博物館



北ユーラシアの永久凍土と気候について、シベリアの凍土や水循環のシステムなどから予測される将来の気候変動と、それに伴う地域社会に与える影響について学びました。

■「過冷却液体の不思議」

日時：2018年11月23日(金・祝) 13:30-15:00
 講師：川崎 猛史(名古屋大学理学研究科助教)
 会場：豊橋市視聴覚教育センター



氷点下でも液体の過冷却水。なぜ凍らないのか、衝撃で一瞬にして氷になる原理を簡単な実験を通して楽しみながらの紹介がありました。ガラスやホッカイロにも応用されていることを知り参加者は驚きの様子でした。

■「『右利き・左利き』の決まり方」

日時：2018年11月25日(日) 14:30-16:00
 講師：小田 洋一(名古屋大学理学部名誉教授/国際機構特任教授)
 会場：豊橋市自然史博物館



「右利き・左利き」の決まり方を、タンガニイカ湖の鱗食魚を用いたの幼魚の観察や神経回路の研究から「利き」の獲得過程を学びました。

■「航空機を用いた台風の観測」

日時：2018年12月2日(日) 13:30-15:00
 講師：坪木 和久(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)
 会場：豊橋市視聴覚教育センター



2017年の台風21号に飛行機で近づき、台風の目の中の撮影や気圧風速を初めて直接観測した様子についての講演でした。台風発生メカニズムから、研究によって進路予測が高まるなど先端研究に触れる機会となりました。

■「ヘビの胴体はなぜ長い？」

日時：2018年12月9日(日) 14:30-16:00
 講師：鈴木 孝幸(名古屋大学大学院生命農学研究科准教授)
 会場：豊橋市自然史博物館



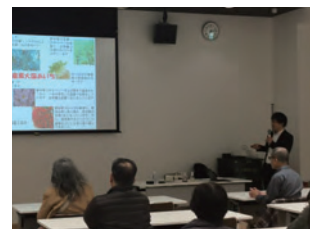
最新の発生生物学を用いた研究成果から脊椎動物の後ろ足の位置の多様性が存在するメカニズムを学びました。

アンフォーレ★ナイトサイエンス講座

■「甘いトマトを作る最新テクノロジー」

日時：2018年12月21日(金) 19:00-20:45
 講師：白武 勝裕
 (名古屋大学大学院生命農学研究科准教授)
 会場：アンフォーレ
 主催：安城市アンフォーレ課

現行の高糖度のトマトの作成方法からゲノム編集や接ぎ木を利用した最新の技術まで、実物を見せながらのわかりやすい紹介でした。参加者は熱心に先生の話に耳を傾けており、食べ物におけるゲノム編集や遺伝子組み換えについての理解が深まる講座となりました。



国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績



国際産学連携セミナー（会場）	開催日	内容
シンガポール国立大学—愛知県—名古屋大学 包括連携協定締結記念セミナー (シンガポール国立大学：シンガポール)	2018年 8月17日（金）	すでに実践されている連携しての共同研究の取り組みについての紹介や、今後の産官学連携の取り組みについて、持続可能な未来社会に向けての最新科学技術の開発と題して協議が行われた。

シンポジウム等（会場）	開催日	内容
第2回公開シンポジウム「省エネルギー 社会の実現に資する次世代半導体研究開発」 (学術総合センター—橋講堂：東京都)	2018年 5月16日（水）	文科省事業「省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発」の研究成果報告
平成30年度名古屋大学 COI シンポジウム (政策研究大学院大学：東京都)	2019年 3月14日（木）	名古屋大学 COI の研究紹介、講演、ポスターセッション

展示会イベント名（会場）	開催日	内容
最新科学機器展 (名古屋国際会議場：愛知県)	2018年 6月27日（水）～29日（金）	GaN コンソーシアム、ナショナルコンポジットセンター、ナノテクノロジープラットフォーム、産学連携制度の紹介
ものづくり岡崎フェア 2018 (岡崎中央総合公園 総合体育館：愛知県)	7月11日（水）、12日（木）	・産学連携制度の紹介・技術相談 ・新井先生らの ImPACT の成果「眼科手術モデル」の紹介
JST フェア 2018 (東京ビッグサイト：東京都)	8月30日（木）、31日（金）	・名古屋大学 COI の研究紹介（成果物、パネル、動画） ・COI シーズピッチ
ホームカミングデイ (名古屋大学：愛知県)	10月20日（土）	“ゆっくり自動運転” 自動走行試乗会
第12回かすがいビジネスフォーラム 2018 (春日井市総合体育館：愛知県)	11月16日（金）、17日（土）	・名古屋大学 COI の研究紹介（成果物、パネル） ・取り組み紹介（講演）
SEMICON Japan 2018 (東京ビッグサイト：東京都)	12月12日（水）～14日（金）	名古屋大学含め4機関が、次世代半導体の研究成果を GaN 研究コンソーシアムと共同で出展
中京銀行 産学連携 個別相談会	2019年 2月19日（火）	中京銀行の顧客を対象とした相談会（5社対応）
第10回とよたビジネスフェア (スカイホール豊田：愛知県)	3月21日（木）、22日（金）	名古屋大学 COI の研究紹介（パネル）

Tongali (とんがり) プロジェクト

Tongali : Tokai Network for Global Leading Innovators
<http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/>



Tongali シンポジウム 2018

日時：2018年6月16日(土) 13:00-18:30

会場：株式会社エイチーム本社

トップレベルの起業家たちが一堂に会し、「挑戦」「夢」「お金」等について、参加者と一緒に考え、議論する完全オフレコのワークショップとして開催しました。未来をリードする参加者が今までの人生観を変え今後の人生を真剣に考える、「起業」はもちろんのこと、それぞれのフィールドで夢の実現に向け挑戦するのに必要なイノベティブな「マインド」や「姿勢」を考える機会となりました。



Tongali school 2018

日時：2018年6月30日より15回開催

会場：名古屋大学 野依記念学術交流館 (7月7日)、ミライブプロジェクト新瑞橋 (11月3、10日)
名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC) (上記以外)

アイデア創出や知的財産・ファイナンスなど各分野の専門家を講師に迎え、起業に必要なスキルを段階的に学びながら、将来の起業家・イノベーションリーダー候補(Tongali人材)の育成を目指しました。

Tongali School I <デザイン思考>

6月30日(土) 10:00-17:00

- ・デザイン思考の基本

7月7日(土) 10:00-17:00

- ・ニーズをデザインする

7月14日(土) 10:00-17:00

- ・将来の課題から新たな製品を考える

9月28日(金) 9:30-10:00

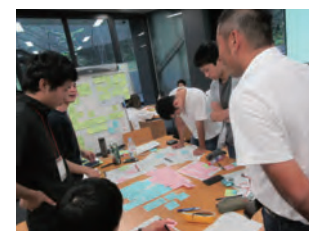
- ・デザイン思考概論

11月3日(土) 9:45-16:00

- ・現場観察とインタビューから課題と解決策を考えるワークショップ(1)

11月10日(土) 9:45-16:00

- ・現場観察とインタビューから課題と解決策を考えるワークショップ(2)



Tongali School II <起業の考え方とスキル>

9月25日(火) 14:00-17:30

- ・仲間を見つけて組織を作る ～企業からの独立、起業から東証一部上場まで～
- ・スタートアップというキャリアを考える

9月26日(水) 10:00-17:30

- ・ブロックチェーンの教科書 ～仮想通貨の作り方～
- ・新しい資金調達の方法 ～ICOの課題と未来～
- ・スタートアップに必要な会計の初歩
- ・起業スキル1 社労士の活用
- ・23歳の挑戦 ～空港送迎予約サービスの世界展開～



Tongali (とんがり) プロジェクトは、この地域から積極的に事業化にチャレンジするリーダーを育成・輩出するための、学生、大学院生、卒業生を対象とするアントレプレナーシップ教育です。実際に起業経験を持つメンターから直接的な指導を受けられ、研究シーズ（アイデア創発）から起業（EXIT）までを、初歩から段階的に学べる体制を整えています。



9月27日（木）10:00-18:00

- ・事業戦略と知的財産マネジメント ～勝てるビジネスモデルにするために～
- ・東大発学生ベンチャーの試み ～学生時代の起業とは?～
- ・起業家のためのブランディング
- ・起業スキル2 弁護士を活用：起業における法務上の留意点～法律で足元をすくわれてはもったいない、むしろ法律を上手く使いこなしてビジネスを戦略的に進めよう～

9月28日（金）10:00-18:00

- ・ビジネスで活用する失敗しないためのフレームワーク
- ・テック&ソーシャルベンチャーと資本政策 ～シードファイナンスからクラウドファンディングまで～
- ・失敗学。会社を興す魅力とは?



Tongali SchoolⅢ <アイデアの事業化>

12月8日（土）10:00-17:00

- ・リーンローンチパッド Lite (1)
- ・オリエンテーション
- ・製品アイデアの価値を検証する方法の講義・演習（リーンスタートアップ、顧客開発モデル）

1月12日（土）10:00-17:00

- ・リーンローンチパッド Lite (2)
- ・価値仮説検証演習の結果の中間発表とフィードバック
- ・ビジネスモデルと収益モデルの設計のための知識（ビジネスモデルキャンバス、シンプル収益モデル）に関する講義・演習

2月2日（土）10:00-17:00

- ・リーンローンチパッド Lite (3)
- ・ビジネスモデルと収益モデルの発表とフィードバック
- ・マネタイズを工夫し収益性を高める方法の講義・演習
- ・スケラビリティを高める方法とビジネスモデルを工夫し持続的な優位性を構築する方法の講義・演習

3月10日（日）10:00-17:00

- ・リーンローンチパッド Lite (4)
- ・ビジネスモデルに基づくビジネスプランの作り方及び発表方法の講義・演習

3月23日（土）14:00-17:00

- ・DemoDay（成果報告会）
- ・ビジネスプランの最終発表とフィードバック
- ・総括



アイデアピッチコンテスト2018

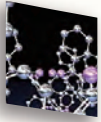
日時：2018年11月27日（火）16:00-19:30

会場：名古屋工業大学 NITech Hall 2階 ラーニングcommons

自らが温めているアイデア、ビジネスプランなどを発表する場「アイデアピッチコンテスト」。優秀賞を獲得したアイデアは、6ヶ月をめぐりにマーケティング・検証等を行い、確度の高い事業計画に仕上げるための過程を学び、実践することを目指します。

予選会（11/16 開催）を通過した15チームが参加し、11名の有識者による審査と一般聴講者による投票の結果、5チームにTongali賞（優秀賞）を授与しました。また、7チームに協賛企業6社からサポーター賞が贈られました。





名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 302

Tel:052-747-6527 Fax:052-788-6002 E-mail:outreach@aip.nagoya-u.ac.jp

www.aip.nagoya-u.ac.jp